

4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7

明治七年甲戌卷之一

|      |       |
|------|-------|
| 一番   | 松方正義  |
| 三番   | 三浦安   |
| 五番   | 上野景范  |
| 七番   | 高崎五六  |
| 九番   | 黒田清隆  |
| 拾一番  | 尾崎三郎  |
| 拾三番  | 伊藤博文  |
| 拾五番  | 上杉公   |
| 拾七番  | 岩崎彌太郎 |
| 拾九番  | 前島密   |
| 二十一番 | 高崎正風  |

友人書翰

|       |       |
|-------|-------|
| 二番    | 由利公正  |
| 四番    | 吉井友実  |
| 六番    | 黒田清隆  |
| 八番    | 黒田清隆  |
| 拾番    | 尾崎三郎  |
| 拾貳番   | 伊藤博文  |
| 拾四番   | 大山巖   |
| 拾六番   | 吉井友実  |
| 拾八番   | 後藤象二郎 |
| 二十番   | 大久保利通 |
| 二十廿一通 |       |

拾七番

岩崎弥太郎君と維新後之友より廢藩之際之高知縣冬事と  
 請ふる公辭より民有と割る三葉と商社と私立し航海之業と起す  
 其時之役大久保内務卿岩崎氏に托し海運輸之事を司とつりむ  
 時之政府は岩崎氏と一而驛逓頭と契約せしむ其條約書頗る  
 官民間の権衡を失の嫌あり一曰岩崎氏来る曰く實は今國政府に  
 嗚托の内實迷惑多し我れ已に一社を以る自立す彼驛逓頭は陸運  
 之頭あらば我れは海運之頭多官民間唯一步之差ありのみ然るに今内  
 務省より驛逓頭と契約せしむる條約中人民を指令する因縁の  
 辭句あり之を改正するふくは我寧ろ之を辭せんと余時に議官を  
 奉り大隈にあり此事を大久保内務卿に謀り大久保曰く驛日清  
 兩國開戦せ彼海上に向て條約國と船舶を識別する運輸捕獲  
 之事を指示する岩崎氏外に材幹ある者も兄能く其條約書を改定  
 し而驛逓と岩崎の権衡を平均せしめよ余は大隈に説得し置  
 く一し於是日岩崎氏満足せし以後はは清來別帝書状し其頃  
 之物多し

東洋書院

早稲田大学図書館  
文書27  
F11